

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例2

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、急性胆管炎の患者。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、 β -ラクタム系抗菌薬（ワイスタール）。病室で発症。
- ・ 過去に β -ラクタム系抗菌薬（タゾピペ）を使用し、アレルギー症状の出現有。
- ・ 抗菌薬の点滴を開始した1～2分後、顔面紅潮、両上肢発赤、瘙痒感、息苦しさが出現。薬剤投与を中止し、医師へ連絡。初発症状から3～4分後、心停止となり心肺蘇生を開始し、アドレナリン0.5 mgを筋肉内注射。13～14分後、2回目のアドレナリン0.5 mgを筋肉内注射。17～18分後、緊急コールし救急処置を実施するが、翌日に死亡。